

プロバモカルブ塩酸塩液剤 プレビクール N 液剤	取扱メーカー： 日本曹達 原体メーカー： バイエル
成分： プロバモカルブ塩酸塩〔カーバメート系〕……………64.0%	性状： 淡黄色澄明水溶性液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 卵菌綱 (*Oomycetes*) ツムカビ目 (*Peronosporales*) に属する病害 (ビシウム菌、べと病菌、疫病菌など) に対し優れた防除効果を発揮する。
- 主な防除効果は病原菌の感染・侵入の阻止だが、菌糸の進展阻止、胞子形成阻害効果も併せ持つ。
- 根部からも吸収され、茎葉部に移行して、地上部でも効果を発揮する。
- 適度な土壌吸着があり下方への流亡が少ない。
- 土壌中の微生物相に影響が少なく、土壌微生物により分解されるため、環境汚染の心配がない。
- 現在まで、耐性菌の出現は認められていない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 作物の根部から吸収されて効果を発揮するため、土壌灌注する場合は、乾燥している土壌への施用はさけ、適度に湿っている土壌に処理する。
- 花き類への灌注処理では、防除期間を延ばすため、必要に応じ3～4週間間隔で反復処理する。
- 酸性溶液なので、金属の器具・容器を使用した場合は、使用後よく水洗する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 花き類への使用には、それぞれの品種において、一般使用を始める前に薬害の検討を行う。
- 適用作物（全般）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 原液は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 作業時に着用していた衣服類は他のものとは分けて洗濯する。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期 (収穫前)	使用方法	本剤及びプロパモカルブ塩酸塩を含む農薬の総使用回数	
レタス	べと病	500～1000倍	100～300ℓ /10a	14日前まで	散布	3回以内	
きゅうり	立枯性疫病	400倍	3ℓ/m ²	苗床：は種直後 本圃：定植直後 及び生育初期 (21日前まで)	土壌灌注		5回以内
	苗立枯病 (ピシウム菌)			は種時			
しょうが	根茎腐敗病	400～600倍			生育期 (30日前まで)		
たばこ	舞病	400倍	100ml / 株	大土寄時	株元灌注	2回以内 (大土寄時は 1回以内)	
	疫病	400～600倍	5ℓ/m ²	苗床期 (移植前日まで)	苗床散布	8回以内	
3ℓ/m ²			発病初期	土壌灌注			
20～25ml/株				株元灌注			
セントポーリア			1ℓ/m ²		散布		
西洋芝 (ペントグラス)	赤焼病	500倍	0.5ℓ/m ²				
	ピシウム病						